

ダービー王・平原康多が主役

7月16日～18日の日程で、佐世保競輪場に於いて開催されるミッドナイト競輪は、初めてのG3レース。Gレースは通常9車立だが、この開催は7車立で行われる。ネームバリューは、ダービーで9つ目のG1をゲットした平原康多が断然上位。格上の平原が貫録を示すのか、それとも思わぬ伏兵がミッドナイト競輪G3の初代覇者となるのか。また、S級戦と合わせてガールズケイリン2Rも行われる。楽しみ満載のシリーズだ。

今年10年間維持していたS班の座を無念にも手放した平原康多。しかしながら、ダービーでは関東連係を实らせて初のダービー王に輝き、暮れのグランプリ出場権を手中に修めた。その後も6月前橋記念④②



平原康多

①③着、高松宮記念杯では青龍賞にコマを進めるなど順調にきていたが、最終日に落車のアクシデントに見舞われた。だが、体調には問題なさそうで、このメンバーで主役の座は譲れない。徹底先行で売り出している

対抗格はG戦線で存在感を示している松本貴治だ。3月松山記念①①③着、4月川崎記念①③⑥着、6月取手記念②④⑥着など、G3では高いレベルで成績をまとめているし、高松宮記念杯で2連対など、G1でも毎開催連に絡んでいる。あまり仕掛けは早くないが、好位置占めてのまくり、差しは破壊力抜群。持ち味を発揮なら単も望める。最近の隅田洋介はほとんど自力を出していないので、ここは中四国スジの松本に前を任せるか。

直近4カ月の競走得点を110点台に乗せている中井俊亮の一発にも魅力を感じる。6月奈良G3では③①④①着、惜しくも決勝は外すも2勝をあげているし、F1戦は5場所続けて優勝して、6月平では3連勝で今年の初Vを手にした。近畿勢はライン手薄の不利はあるが、レースの流れに乗って自力を出せば好勝負に持ち込める。

地元地区の九州勢は岩谷拓磨、後藤大輝の福岡コンビに期待がかかる。今年は一息不足の場所が続いていた岩谷だが、5月向日町①②③着、6月大宮③②②着、6月久留米記念は②④着で準決に進出するなど、ここに来てようやく上向いてきた印象だ。後藤は今期初めてS1班に昇格。まだS級では優勝に手が届いていないものの、6月大垣は3日間先行して②①②着、同月久留米記念では一次予選、二次予選ともに逃げ粘って2着など、先行力に磨きがかかった感がある。後藤がいつも通りの積極策で先手を奪い、岩谷が無風で番手を回る展開になれば、両者で連独占もありうる。

目標をつかんだときの捌き、差し脚はしっかりしている佐々木龍も侮れない。6月前橋記念③②④②着の二次予選、最終日は、いずれも松井宏に食い下がり、神奈川ワンツーを決めている。ただ、ここは南関東の自力型が手薄。好位置キープに成功なら連対十分なので、動向には注意したい。



中井俊亮



松本貴治

WTミッドナイトG3 出場予定選手

級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点
S1	中村浩士	千葉	79 期	98.75	S2	佐々木龍	神奈川	109 期	108.67
S1	平原康多	埼玉	87 期	117.43	S2	瀬戸栄作	長崎	109 期	103.90
S1	柴崎淳	三重	91 期	107.17	S2	平尾一晃	長崎	111 期	100.84
S1	雨谷一樹	栃木	96 期	110.11	S2	佐々木堅次	福島	113 期	101.19
S1	根本哲吏	秋田	97 期	96.44	S2	鈴木輝大	東京	113 期	104.06
S1	横関裕樹	岐阜	99 期	98.93	S2	朝倉智仁	茨城	115 期	102.62
S1	嶋津拓弥	神奈川	103 期	107.00	S2	福田晃	栃木	115 期	101.11
S1	中井俊亮	奈良	103 期	110.18	S2	山口聖矢	岐阜	115 期	94.00
S1	隅田洋介	岡山	107 期	106.15	S2	長田龍拳	静岡	117 期	98.44
S1	築田一輝	静岡	107 期	105.11	S2	下井竜	三重	117 期	99.63
S1	大石崇晴	大阪	109 期	104.15	S2	山口多聞	埼玉	121 期	104.10
S1	松本貴治	愛媛	111 期	111.53	S2	昼田達哉	岡山	121 期	92.94
S1	岩谷拓磨	福岡	115 期	105.26	S2	真鍋智寛	愛媛	121 期	102.92
S1	阪本和也	長崎	115 期	103.19	S2	梶原海斗	福岡	123 期	97.68
S1	久田裕也	徳島	117 期	104.37	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点
S1	後藤大輝	福岡	121 期	106.09	ガールズケイリン				
S2	松田治之	大阪	73 期	98.86	L1	奥井油	東京	106 期	56.79
S2	濱田浩司	愛媛	81 期	102.50	L1	鈴木奈央	静岡	110 期	54.42
S2	佐藤慎太郎	福島	83 期	101.10	L1	宮地寧々	岐阜	110 期	48.64
S2	小橋秀幸	青森	85 期	97.88	L1	佐々木綾	福島	116 期	49.17
S2	岡田征陽	東京	85 期	98.95	L1	岩崎ゆみこ	茨城	116 期	50.71
S2	上田裕和	三重	86 期	100.00	L1	高尾貴美歌	長崎	116 期	53.00
S2	杉山悠也	秋田	89 期	94.52	L1	山口伊吹	長崎	116 期	53.36
S2	高橋雅之	千葉	90 期	94.00	L1	西脇美唯奈	愛知	120 期	52.13
S2	中川貴徳	栃木	91 期	99.86	L1	木下宙	大阪	124 期	46.81
S2	宿口潤平	埼玉	91 期	102.33	L1	横山愛海	高知	124 期	44.53
S2	関貴之	茨城	93 期	98.18	L1	枝光美奈	福岡	124 期	50.20
S2	蒔田英彦	千葉	93 期	100.34	L1	山口優依	愛知	124 期	48.96
S2	黒田淳	岡山	97 期	98.91	L1	磯村光舞	山口	126 期	51.11
S2	柳詰正宏	福岡	97 期	104.31	L1	高木萌那	福岡	126 期	51.43
S2	藤岡隆治	徳島	98 期	100.44					
S2	山本直	岡山	101 期	99.65					
S2	元砂勇雪	奈良	103 期	106.62					
S2	北川大五郎	大阪	103 期	90.69					
S2	瀬戸晋作	長崎	107 期	102.33					

※2024年07月08日現在

※2024年07月08日現在

出場予定選手詳細

※2024年07月08日現在

後藤大輝	岩谷拓磨	松本貴治	隅田洋介	中井俊亮	平原康多	雨谷一樹
23	27	30	36	31	42	34
121期	115期	111期	107期	103期	87期	96期
S1	S1	S1	S1	S1	S1	S1
106.09	105.26	111.53	106.15	110.18	117.43	110.11
105.66	105.32	110.98	107.88	106.91	114.98	108.56
75 63 0 2 0 63	52 67 0 9 89	51 65 0 10 78	42 54 0 11 51	45 60 0 19 56	54 67 0 103 84	44 58 0 21 60
20 0 0 0 0	1 3 1 0 0	0 3 0 0 0	0 0 0 1 0	0 3 7 0 0	0 0 12 0 0	1 0 3 0 0
出走38	出走41	出走38	出走35	出走36	出走41	出走36
7 14 4 13	5 5 11 20	8 10 6 14	5 4 2 24	9 6 9 12	12 9 6 14	4 9 7 16
3月 1 2 2	2月 3 3 2	1月 1 1 2	2月 2 2 2	1月 2 2 2	2月 2 2 2	1月 2 2 2
4月 1 1 2	3月 1 1 2	2月 1 1 2	3月 1 1 2	2月 1 1 2	3月 1 1 2	2月 1 1 2
5月 2 2 2	4月 2 2 2	3月 2 2 2	4月 2 2 2	3月 2 2 2	4月 2 2 2	3月 2 2 2
6月 2 2 2	5月 2 2 2	4月 2 2 2	5月 2 2 2	4月 2 2 2	5月 2 2 2	4月 2 2 2
7月 2 2 2	6月 2 2 2	5月 2 2 2	6月 2 2 2	5月 2 2 2	6月 2 2 2	5月 2 2 2
1146万	1299万	1281万	1065万	1412万	1298万	1298万
出走	出走	出走	出走	出走	出走	出走

元砂 勇雪 (奈良/103期)

差し脚の伸びは申し分ない。6月奈良G3で1②③**②**着と気を吐くと、同月小倉は1⑤①着と2勝をあげた。その後の落車の影響がなければ、上位進出が期待できる。



**PICK UP
RACE**



瀬戸 栄作 (長崎/109期)

今年はまだ決勝には乗れていないものの、予選、選抜クラスでは連がらみが多く、連対率は4割を上回っている。自力攻撃には破壊力があり、ホームバンクで躍動するか。



梶原 海斗 (福岡/123期)

インカレのスプリントVの実績を持つ快速レーサー。まだS級での経験は浅いが、スピードは十分に通用する。予選は主力になるし、準決でも大駆けの魅力を秘めている。



GIRLS KEIRIN

ガールズケイリン

タフな奥井迪が主役だ

出場予定選手詳細

※2024年07月08日現在

[illegible]

初のG3ミッドナイトをガールズも盛り上げる。本命は奥井迪だ。5月青森MNの逃げ切り。V、G1戦のパールカップで準V、続く6月小松島では児玉碧を破って優勝とヒットを立て続けに飛ばして古豪復活を強く印象付ける近況。先行の第一人者もさすがに息切れ感があつた近年だったが、レースの読みはさすがだし、どんな舞台でも自分の走りを貫く信念で輝きが戻った。一旦、久米詩を出させてからの間髪入れぬ巻き返しで尾崎睦らを一蹴したパールカップの東準決など隙のない内容だった。観客は不在のミッドナイトでもファンの応援を感じながら結果を出す。

山口伊吹、高尾貴美歌の地元ガールズも気合を込める。山口は4日制の6月函館を3連勝して決勝進出、続く松阪MNは準V。松阪の決勝は日野末の仕掛けに乗って坂口楓の2着に突っ込んだし、5月弥彦MN決勝でのゴール後落車の影響はなさそうだ。高尾は6月久留米MNで



奥井 迪

V。決勝はゴール前で強烈な伸びを披露した。ともに自力兼備のタテ脚が売りで、集中力を高めて勝てる展開を作る。

鈴木奈央ももちろん、有力なV候補だ。ここ5場所は準V4回、決勝3着1回。優勝こそ果たせていないものの、安定感では誰よりも優っている。これも冷静にレースの流れに乗っている、最後は一気差しを決める。

爆発的なタテ攻撃を繰り返しての大駆けが魅力の西脇美唯奈。最近練習にも身が入って成績がまとまってきた。岩崎ゆみこあたりのの抵抗で奥井がペースを乱すと出番も。

そして、注目が高木萌那、磯村光舞のルーキー2人だ。高木は在所3位のスター候補で本格デビュー戦の7月高松では鈴木美を破って予選2を勝利と大物ぶりを見せた。内容的には自力を出してではないので本人は納得がいてなかったが、勝負強さは評価したい。磯村はルーキーシリーズで名を売った。3戦走って全て優勝し、6月松山は準Vだった。先輩相手でも自力が通用するか見ものだ。



山口 伊吹